

IGES が中国で実施している低炭素協力等

IGES本部(日本)



**地球環境戦略研究機関(IGES)
北京事務所長 小柳 秀明**

1. 日中CDM協力プログラム(2006-2010)
2. 日中気候変動協力プログラム(2011-)
3. 日中間の汚染物質排出削減に関する総合協力
 - (1) 小城镇分散型污水处理モデル事業協力
 - (2) コベネフィット・アプローチ協力
 - (3) N,P総量削減日中共同研究
 - (4) NO_x総量削減日中共同研究

1. 日中CDM協カプログラム(2006-2010)

枠組み

- 環境省と中国国家発展改革委員会との間で合意された協カプログラム
- 日本側の実施機関はIGES、中国側の実施機関は清華大学
- ステアリングコミティ(S/C)によるプログラムの運営
S/Cメンバー:
 - 日本国環境省の代表
 - 中国国家発展改革委員会、外交部、科学技術部、環境保護部、気象局の代表
 - IGESの代表
 - 清華大学の代表
 - オブザーバーとして、他の日中関係機関(NEDO,JICAなど)

日中CDM協力プログラム概要

目的

- 中国における優良なCDMプロジェクト候補案件の発掘・形成支援
 - 具体的には、プロジェクト設計書(PDD)の作成、ホスト国承認、理事会登録に係る支援を行う
- 京都議定書における日本の目標達成への寄与
 - 支援した案件より発生するクレジット(CERs)は、日本政府が優先的な買取り交渉権をもつ。なお、買取価格は当事者間での交渉による。
 - 支援を受ける事業者は、上記の条件に合意する必要がある

2. 日中気候変動協力プログラム(2011-) 枠組み

- 環境省と中国国家発展改革委員会との間で合意された協力プログラム
- 日本側の実施機関はIGES、中国側の実施機関は清華大学
- ステアリングコミティ(S/C)によるプログラムの運営
S/Cメンバー：
 - 日本国環境省の代表
 - 中国国家発展改革委員会、外交部、科学技術部、環境保護部、気象局の代表
 - IGESの代表
 - 清華大学の代表
 - その他

日中気候変動協カプログラム概要

1. 低炭素発展協カ研修プロジェクト (目的等)

- 中国国内の低炭素発展モデル業務の推進と連携して、地方関係部門の低炭素発展に係る認識を強化し、もって地方の低炭素発展モデル業務実施能力を高める。
- 地方関係部門(5省8市)高級幹部職員の国内研修及び訪日研修・考察

2. 日本の炭素市場構築経験に関する調査研究 (目的)

- 日本の炭素市場構築の経験を全体的に理解し、もって中国における炭素市場のモデル的展開を研究し、中国の関連政策制定の参考にする。

3. 日中間の汚染物質排出削減に関する総合協力

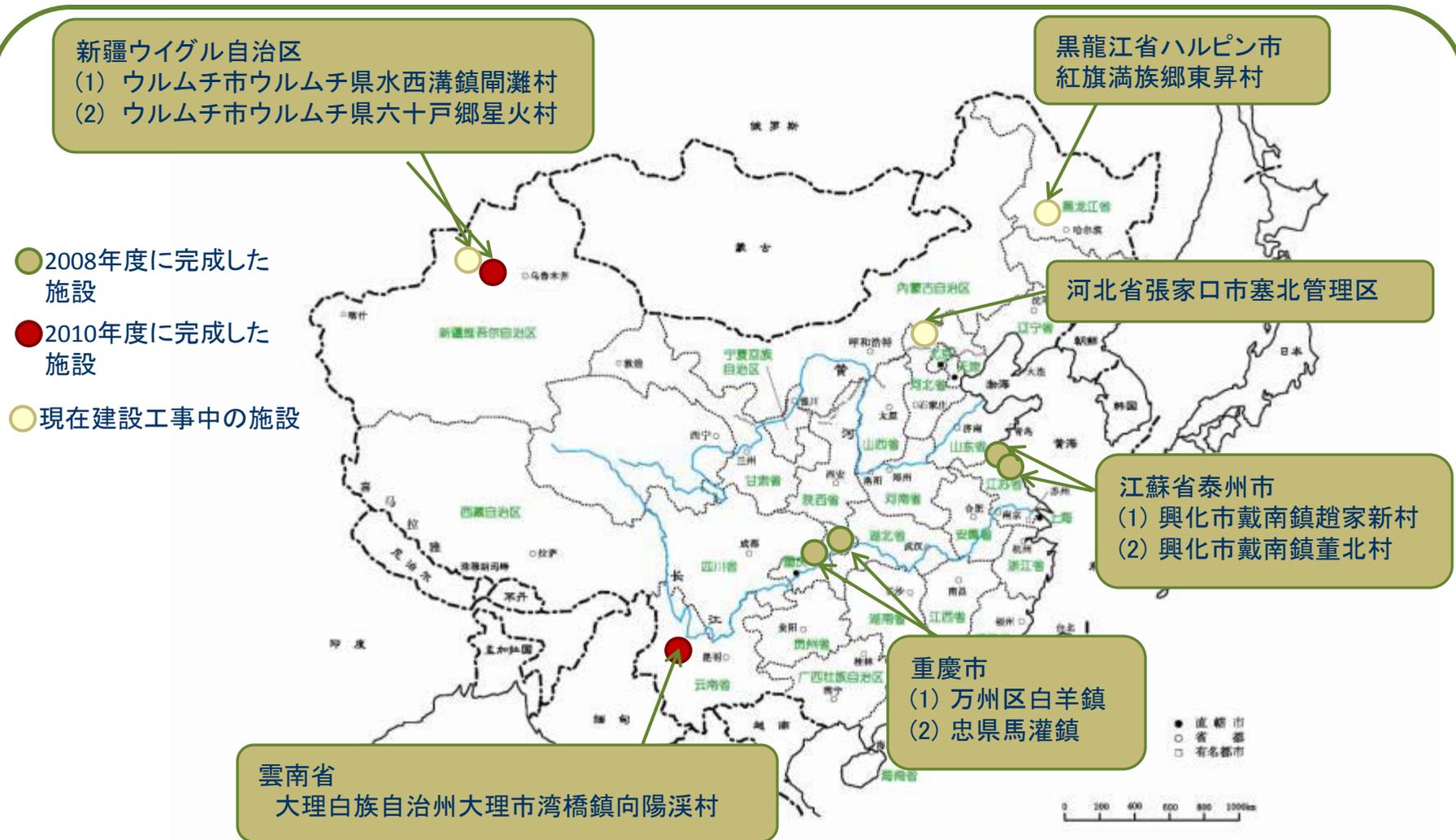
(1) 小城镇分散型污水处理モデル事業協力
(2008-2011)

(2) コベネフィット・アプローチ協力 (2008-)

(3) N,P総量削減日中共同研究(2009-2010)

(4) NO_x総量削減日中共同研究(2009-)

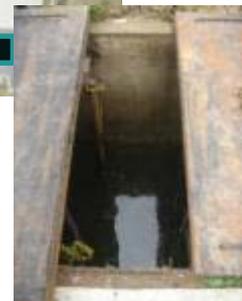
モデル事業実施地域



完成した汚水処理施設の例（江蘇省泰州市）



Effluent Water



Influent Water